

専任教員の公募について

専任教員を下記の要領により公募いたします。

記

1. 担 当 科 目 ネットワーク情報学部専門科目の「情報システム開発概論」を主担当とし、「情報キャリアデザイン」、「特殊講義（システムエンジニア論）」、「特殊講義（システムコンサルティング）」、「ビジネスプロセスデザイン」、「プロジェクト」を担当する。加えて、担当者の経験にあわせて「テーマ実習1～6」、「卒業演習」、「専修大学入門ゼミナール」、「IT コンサルタント向けのプログラミング演習」等も担当する。
2. 職 名 准教授または講師
3. 採用予定日 令和9年4月1日
4. 採用人員 1名
5. 応募資格 当該研究分野の博士の学位を有している方。（令和9年3月までに取得見込みの方も含む。）
または、学歴・教育歴、研究業績および実務業績において、上記に準ずる方。
企業における業務情報システムに関する研究・業務経験があること。
6. 応募書類締切日 令和8年7月3日（金）必着
7. 応募方法 ①本学ホームページの「教員採用情報」ページから、Web エントリーを行ってください。
URL <https://www.senshu-u.ac.jp/about/recruitment/teacher.html>
②Web エントリー完了後、登録されたメールアドレス宛てに自動返信メールが届きますので、そこに記載された受付番号を業績送付状（本学所定用紙）に記載してください。
③「8. 提出書類」に記載の書類を JREC-IN Portal の「Web 応募」機能により提出してください。
※JREC-IN Portal の「Web 応募」機能により提出書類を提出することで正式な応募とみなします。本学ホームページ上での Web エントリーのみの場合は、応募が無効となります。
※JREC-IN Portal の「Web 応募」で添付できるファイルは、1 ファイルあたり 30 MB 以内、最大5 ファイルとなります。必要に応じて、ZIP ファイルや PDF ファイルにまとめて提出してください。（JREC-IN Portal の「Web 応募」機能の詳細については、JREC-IN Portal 操作マニュアル等を必ずご確認ください。）
※電子データで提出が難しい著書、論文については、応募書類締切日までに、業績送付状を同封の上、封筒の表に「情報システム専任教員応募書類」と朱書きし、書留郵便等（配達記録の残るもの）で「10. 問い合わせ先」に記載の住所へ郵送してください。
なお、提出した著書、論文は原則返却しませんが、返却を希望する場合は、

業績送付状に返却を希望する旨を記載し、返信用封筒および送料分の切手または宅配便の着払伝票（送付先記入済）等を同封してください。

8. 提出書類
- ①履歴書および業績書（本学所定用紙）
 - ②主要な著書、論文を3点。
なお、選考過程により追加で業績の提出を求める場合があります。
 - ③最終学位取得証明書（学位記の写しも可）
 - ④文理融合系の情報学部での情報システム教育に関する抱負（A4用紙1200字以内）
 - ⑤業績送付状（本学所定用紙）
- ※本学所定用紙は、本学ホームページの「教員採用情報」ページからダウンロード可能です。
9. 選考方法
- 書類審査のうえ面接（模擬授業を含む）を行います。面接については、書類審査の結果により通知します。
なお、面接に先立ち、担当科目のシラバスの提出を求める場合があります。
10. 問い合わせ先
- 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1
専修大学 学長室学務課
TEL.044 (911) 1253 FAX.044 (900) 7817
E-mail gakumuka@acc.senshu-u.ac.jp
11. その他
- ①面接に伴う交通費等の経費は自己負担となります。
 - ②最終候補者には、署名・捺印した履歴書をご提出いただきます。
 - ③ご提出いただきました個人情報、選考および採用手続き以外の目的には使用しません。
 - ④本学では男女共同参画を推進しています。
本公募は、業績の評価において同等と認められる場合、女性を優先的に採用します。（男女共同参画社会基本法に基づくポジティブ・アクション）
 - ⑤応募資格に加え、望ましい人材像は以下の通りです。
 - ・ 企業における業務情報システムの開発工程全体に対する知識を含み、要件定義など上流定義に強いこと。
 - ・ 文理融合のネットワーク情報学部において、プロジェクトやグループワークなどの演習科目を担当できる人。
 - ・ 授業科目、情報システムの分野に関して、学生の興味・理解レベルに応じて適切な対応を取ることができる人。
 - ・ ITによる問題解決について自らが関心を持ち、学生への興味を引き出す意欲があること。
 - ・ 科目担当者グループ内で必要なコミュニケーションを取りながら、協働・連携し、意欲的に教育にあたることができる人。
 - ・ プロジェクト等の本学部の教育の方法について理解し、教育にあたることができる人。
 - ・ 学部や、学部内組織の運営にも積極的に携われることができる人。
- 以上